

# 新年のご挨拶



中国しんきん健康保険組合

理事長  
**松岡 裕司**

あけましておめでとうございます。

被保険者ならびにご家族のみなさまにおかれましては、穏やかに新年をお迎えのことと存じます。また、平素より当健康保険組合の事業運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、いまだ終息が見通せない新型コロナウイルス感染症は、人々の健康だけでなく、社会・経済活動に甚大な影響をおよぼしております。健康保険組合におきましても、保険料収入の大幅な減少による財政悪化が懸念されているところです。

また、健康保険組合を取り巻く環境は、少子高齢化の進展に加え、団塊の世代が75歳になり始めることにより後期高齢者医療制度への負担金の急増が見込まれる「2022年危機」が間近に迫るなかで、新型コロナウイルス感染症の発生による経済情勢の悪化などが重なり、これまでにない厳しい局面を迎えようとしています。

こうした状況のなか、昨年7月に政府は、感染予防対策と社会経済活動を両立させる「新たな日常」の実現の原動力となる

「デジタル化への集中投資」を掲げた「骨太方針2020」を閣議決定し、現在その取組が進められています。健康保険関係では、昨年11月から健康保険組合で本格実施することとなりました「社会保険手続きの電子申請」に続き、本年3月からは医療機関窓口における「オンライン資格確認」の本格運用が予定されています。そのほか、引き続き規制の緩和が検討されているインターネットによる「オンライン診療」などがあります。

当健康保険組合は、これらの取組に適切に対応しつつ、みなさまの健康管理・健康づくりをお支える事業を推進してまいります。みなさま方におかれましては、特定健診やガン検診などの保健事業を活用され、健康管理に努めていただきますとともに、ジェネリック医薬品のなお一層の利用などにより、医療費の節減にご協力くださいますようお願い申し上げます。

終わりに、本年がみなさまにとりまして実り多き一年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。